

関西支部 第17回技術研修会

「変化の時代に対応するねじの世界」

日 時：平成16年8月27日（金）11：00～17：00

講演会場：京都市東部文化会館 創造活動室 （<http://www.kyotokaikan.org/toubu/>）

〒607-8169 京都市山科区榎辻西浦町1の8 電話 075-502-1012 FAX 075-502-1014

京都市営地下鉄 東西線「榎辻」駅下車（1番出口より徒歩5分）

工場見学：（株）ヤマシナ （http://www.kk-yamashina.co.jp/index_ie.htm）

〒607-8155 京都市山科区東野狐藪町16番地 電話 075-591-2131 FAX 075-581-9685

協 賛：日本ねじ研究協会

趣 旨：自動車、家電、住宅などあらゆる分野で大量に使用されている「ねじ」は300万種以上とも言われている。各産業分野での技術革新にともなって「ねじ」の世界も大きな変革を遂げ、軽量化、信頼性の向上、締付け作業能率の向上、低コスト化に対応すべく新しい技術が生れている。本技術研修会では、「ねじ」における最近の技術動向を概説するとともに、軽量化に対応できるボルト用鋼、最近のねじ転造技術および機能部品としての新しい「ねじ」の開発事例を紹介する。あわせて工場見学を通じてねじ製造の現状への理解を深める。

プログラム：11：00～11：05 挨拶、概要説明

日本塑性加工学会関西支部

時 間	内 容	講 師
11:05～11:55	「ねじ及びねじ締結に関する課題と最近の動向」ねじ締結の信頼性の確保という観点から、ねじ部品の品質、ねじ結合部の性能、締結体としての特性のそれぞれについて、解決すべき課題と最近の技術動向について概説する。	名古屋工業大学大学院 機能工学専攻 萩原 正弥 君
11:55～13:00	昼 食・休 憩	
13:00～13:40	「高強度ボルト用鋼」ボルト強度1200N/mm ² 以上で問題とされる耐遅れ破壊特性を改善した鋼材について、使用実績のある弊社高強度ボルト用鋼を例に挙げ紹介する。	（株）神戸製鋼所 条鋼開発部・条鋼開発室 並村 裕一 君
13:40～14:20	「近年の転造ダイスと転造事例」転造には平ダイス式、丸ダイス式、プランタリー式、ラック式と転造盤の種類により多くの方式がある。最近の転造事例を紹介すると共に、ダイス材料及びダイスへの表面処理について紹介する。	オーエスジー（株） 豊橋工場 第3製造部 梅林 義弘 君
14:20～15:00	「機能要素部品としてのねじの変遷」締結要素の一つ「ねじ」は、世の中に300万種以上と言われる中で用途も多様、多機能化（多目的部品化）している。その多目的部品としての変遷及び弊社製品での機能を紹介する。	（株）ヤマシナ 技術開発部 堀内 美喜雄 君
15:00～15:15	会社概要紹介（説明のあと工場見学先に移動）	
15:30～17:00	工場見学（見学中に質疑応答）	

定 員：130名 定員になり次第締め切ります。（同業者の方はお断りする場合があります。）

参 加 費：会員7,000円（協賛学協会員は会員扱い）、非会員10,000円

申込方法：「関西支部第17回技術研修会申込」と題記し、①氏名、②会員資格（正・賛助・協賛学協会名）、③勤務先（所属・部課名）、④通信先（郵便番号、住所・電話番号・FAX番号・E-mail）を明記のうえ、E-mail（またはFAX）にて下記にお申し込み下さい。

※参加費は参加証、請求書を受領後に開催2日前までに下記の振込先へご送金ください。

申 込 先：日本塑性加工学会 関西支部事務局

〒639-1080 奈良県大和郡山市矢田町22番地 奈良工業高等専門学校 機械工学科内
電話/FAX（0743）55-6204 E-mail：kansai-maemura@mech.nara-k.ac.jp

振 込 先：三井住友銀行大和郡山支店、普通預金口座：0751805、名義「日本塑性加工学会関西支部 小畠耕二」